

## 生きもの について、こんなお問合せがありました

Q. 穂、葉、茎がむらさき色をした麦について知りたいのですが…

『**日本国語大辞典**』で「むらさきむぎ（紫麦）」を引くと、「**紺屋麦**をいう」とあり、「オオムギの栽培品種。茎や穂の部分が紫色をした麦。」とあります。また、『**本朝食鑑**』の「大麦」の項には、「紺屋麦というものもある。禾穂は紫色で、粒は小さく味も佳くない。その紫色が格別なので愛されている（後略）」（東洋文庫版より）と紹介されています。愛知県内の栽培地域については、岡崎市の『**藤川宿散策のしおり**』に「この辺の傾斜地で栽培されていて、戦後まで細々と作られていたらしい。」とあります。



Q. 名古屋市東山動物園の前身となる動物園にトラがいたと聞いたのですが、いつ頃からいたのでしょうか？

『**東山動物園日記**』に、明治後半今泉七五郎が大須に見世物小屋を開き、そこにトラがいたという記載があり、その後、今泉氏が動物園を名古屋市に寄付し、大正7年に名古屋市鶴舞公園附属動物園となり、昭和12年に東山動物園に移転したと記されています。『**写真図説 明治の名古屋**』によると、今泉氏が明治39年に独力で門前町に動物園を開設したことが判明。これらのことから東山動物園の前身となる動物園には、明治40年前後には既にトラがいたことがわかります。

Q. 鯉や金魚などの淡水魚のノドにあるという「**咽頭歯**」とは何ですか？

『**魚の形を考える**』には、咽頭歯とコイ科魚類、コイ科魚類の咽頭歯系がどのようにできあがるか、など体系的に説明してあります。また、『**魚の科学事典**』には「顎以外の場所に歯を持つ魚類もある。とくに、咽頭にある咽頭歯は、べら亜目の魚類やコイ科魚類などでよく発達しており、口から取り入れた餌を砕いたりすりつぶしたりして加工してから、消化管へ送り込む。」とあります。



- 開館時間 火～金 10時～20時（児童図書室・視覚障害者資料室は10時～18時）  
土・日・祝日 10時～18時
  - 休館日 ・月、毎月第2木（その日が祝日（振替休日）に当たるときは開館、次の平日に休館）  
・年末年始（12月28日～1月4日）  
・館内整理のための休館（平成23年は2月24日～3月10日）
  - 交通案内 地下鉄 鶴舞線又は桜通線「丸の内」下車 8番出口から徒歩5分  
市バス 幹名駅1系統・名駅14系統 「愛知県図書館」下車徒歩3分
- ※有料駐車場はありますが、台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。  
（最初の30分までは無料。以後30分ごとに100円。最高1,000円まで）

あゆち 第10号

平成22年3月20日発行

編集・発行 愛知県図書館  
〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目9-3  
電話 (052)212-2323(代表)  
(052)212-3200(調査相談)  
URL <http://www.aichi-pref-library.jp>



携帯サイトはこちら

  
あいち  
トリエンナーレ  
2010